

八潮市水道事業ビジョン



No.2PC 配水池と新ポンプ室（中央浄水場）

平成30年3月
八潮市

ごあいさつ

八潮市の水道事業は、昭和34年、給水計画人口4,898人の簡易水道として給水を開始以来、60年を迎えようとしています。この間、人口増加や水需要の増大にあわせ、4期にわたる拡張事業を実施し、現在では給水人口が89,000人を超えるまでに至っております。



しかしながら、急激に進む少子高齢化や経済状況の停滞など社会情勢が日々変化しており、水環境を取り巻く情勢も大きく変わってきております。

本市水道事業におきましても、社会情勢の変化などに合わせ、また、水道施設の老朽化に伴う更新や大規模地震の発生に備えた耐震化事業の推進、健全な水道事業の経営、人材育成や技術の継承など、様々な問題を抱えながら、効率的に安定的な水道事業の運営が必要となっております。

こうした状況に対応していくために、平成22年3月に策定した、「八潮市水道ビジョン」の見直しをおこない、新たな「八潮市水道事業ビジョン」を策定しました。

本ビジョンでは、これらの社会情勢や水道事業の様々な問題を踏まえ、50年、100年先においても、安全で良質な水を安定供給できるよう、「安心を未来につなげる八潮の水道」を基本理念に、「安全」、「強靱」、「持続」の観点に基づき、適切な施設の更新、耐震化を図り、健全な水道事業の運営を進めながら、今後も一層、市民の皆様にご信頼される水道事業に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本ビジョンの策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました、八潮市水道運営委員の皆様及び関係各位に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

平成30年3月

八潮市長 大山 忍



八潮市水道事業ビジョン

目 次

第1章 水道事業ビジョン策定にあたって	1
1. 水道事業ビジョン策定の背景	2
2. 水道事業ビジョン策定の方針	3
第2章 水道事業の概要	5
1. 八潮市の概況	6
2. 第5次八潮市総合計画	7
3. 水道事業の概要	8
(1) 水道事業の沿革	8
(2) 水道施設の概要	9
1) 中央浄水場	10
2) 南部配水場	12
第3章 水道事業の現状と課題	13
1. 給水人口と配水量	14
2. 県水受水と自己水	16
3. 水質及び水質管理の状況	17
(1) 原水の水質及び管理	17
(2) 配水の水質及び管理	18
4. 施設の状況	19
(1) 水源井と導水施設	19
(2) 浄・配水場施設	20
1) 中央浄水場	20
2) 南部配水場	21
(3) 配水管及び導水管	22
(4) 機械・電気設備	24
1) 中央浄水場	24
2) 南部配水場	25
5. 災害対策の状況	26
(1) 災害対策施設	26
(2) 震災対策計画行動マニュアル	27
(3) 応急給水資機材	29
(4) 連携対策	30



6. 水道事業の運営状況	31
(1) 財政状況	31
(2) 組織体制	33
(3) 広報活動	34
7. 広域化へ向けた取り組み	34
8. 業務指標	36
<u>第4章 水道事業の見通し</u>	37
1. 給水人口・給水量	38
2. 施設の効率性	39
3. 施設の老朽化	39
<u>第5章 水道事業の目指す理想像</u>	41
1. 水道事業の理想像	42
(1) 基本理念	42
(2) 水道の理想像	43
<u>第6章 理想像に向けた実現方策</u>	45
1. 施策体系	46
2. 実現への方策	47
3. 年次計画	50
<u>第7章 用語解説</u>	53
